

はだの浮世絵ギャラリー

2019年 11 月 9 日(土) ~ 2020年 1 月 19 日(日)



歌川国貞 (三代豊国)  
忠臣蔵銘々伝 高師直 桃井若狭之助

元禄時代に、赤穂藩主・浅野内匠頭が、吉良上野介を刃傷し、即日切腹、お家取り潰しとなった「赤穂事件」は、家老・大石内蔵助率いる赤穂四十七士が、見事主君の仇討ちを遂げたことで、人形浄瑠璃「仮名手本忠臣蔵」や、歌舞伎で上演され、大変人気となりました。

本展では、江戸っ子が愛し、歌川国貞 (三代豊国) や歌川広重など、当時の人気絵師が腕をふるって描いた「忠臣蔵」の浮世絵38点を紹介します。

# 御存じ!! 忠臣蔵



豊原国周  
市川團十郎演芸百番 大星由良之助

◆ギャラリートーク  
(作品解説)のお知らせ◆  
(内容はいずれも同じ)

【日時】

11月15日(金)、

12月13日(金)

14:00~14:30

【申込】

不要・無料

【会場】

はだの浮世絵ギャラリー  
展示室内



歌川広重 忠臣蔵 十一段目 一 夜打押寄

◆開室時間

9:00~19:00 (火曜日、祝日は17:00まで)

◆休室日

月曜日(11月18日(月))に限り、17:00まで開室)、  
11月20日(水)~12月2日(月)、12月29日(日)~1月3日(金)、  
1月14日(火)、15日(水) ※ 図書館の開館時間に準じます。

◆会場

はだの浮世絵ギャラリー (秦野市立図書館2階)

住所 〒257-0015 秦野市平沢94-1 (カルチャーパーク内) TEL 0463-81-7012

交通 小田急線秦野駅北口バス3番のりば《秦08系統》渋沢駅行き(日立製作所/桜土手経由)「文化会館前」下車  
小田急線渋沢駅北口バス1番のりば《秦08系統》秦野駅行き(日立製作所/桜土手経由)「文化会館前」下車

◆主催

秦野市

◆問い合わせ

文化振興課 (0463-86-6309)

◆ホームページ

<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1524794537613/index.html>

入場  
無料



# 御存じ!! 忠臣蔵

はだの浮世絵ギャラリー

2019年11月9日(土)~2020年1月19日(日)

展示目録

	題名	作者名	制作年代
1	忠臣蔵銘々伝 高師直 桃井若狭之助	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年8月 (1855年)
2	忠臣蔵銘々伝 高師直 香保与	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年8月 (1855年)
3	忠臣蔵銘々伝 柏木太夫 大星由良之助	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年8月 (1855年)
4	忠臣蔵銘々伝 腰元お軽 飾間宅兵衛	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年8月 (1855年)
5	忠臣蔵銘々伝 加古川本蔵 大星女房お石	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年8月 (1855年)
6	忠臣蔵銘々伝 矢間重太郎 女房おりゑ	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年9月 (1855年)
7	忠臣蔵銘々伝 潮田又之丞 沼沢次郎右衛門	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年12月 (1855年)
8	忠臣蔵銘々伝 愛妾お蘭の方 前原猪助	歌川国貞 (三代豊国)	安政2年12月 (1855年)
9	仮名手本忠臣蔵十一段続	歌川国貞 (三代豊国)	安政元年11月 (1854年)
10	絵兄弟忠臣蔵 三段目	歌川国貞 (三代豊国)	天保中期 (1836~1840年)
11	絵兄弟忠臣蔵 四段目	歌川国貞 (三代豊国)	天保中期 (1836~1840年)
12	絵兄弟忠臣蔵 五段目	歌川国貞 (三代豊国)	天保中期 (1836~1840年)
13	絵兄弟忠臣蔵 六段目	歌川国貞 (三代豊国)	天保中期 (1836~1840年)
14	絵兄弟忠臣蔵 七段目	歌川国貞 (三代豊国)	天保中期 (1836~1840年)
15	絵兄弟忠臣蔵 八段目	歌川国貞 (三代豊国)	天保中期 (1836~1840年)
16	絵兄弟忠臣蔵 十段目	歌川国貞 (三代豊国)	天保中期 (1836~1840年)
17	絵兄弟忠臣蔵 十一段目	歌川国貞 (三代豊国)	天保中期 (1836~1840年)
18	忠臣蔵 五段目	歌川広重	天保中期 (1836~1840年)
19	忠臣蔵 十一段目 一 夜打押寄	歌川広重	天保中期 (1836~1840年)
20	見立てうちん蔵 四段目	歌川国芳	嘉永元年頃 (1848年)
21	見立挑灯蔵 五段目	歌川国芳	嘉永元年頃 (1848年)
22	三代目嵐吉三郎の斧定九郎・中村翫右衛門の百姓与一兵衛・大谷友右衛門の千崎弥五郎・八代目市川團十郎の早野かん平	歌川国芳	嘉永4年 (1851年)
23	木曾街道六十九次之内 大井 斧定九郎	歌川国芳	嘉永5年5月 (1852年)
24	木曾街道六十九次之内 鴻巣 武蔵守師直	歌川国芳	嘉永5年5月 (1852年)
25	義徒等本望を遂 墓前へ手向けの図	歌川国芳	嘉永3~4年 (1850~1851年)
26	新富座二月狂言 仮名手本忠臣蔵三段目 七代目沢村訥子の桃の井若狭之助・三代目市川九蔵の高野師直・中村芝鶴の塩谷判官	豊原国周	明治27年2月 (1894年)
27	早野勘平・こし元おかる	豊原国周	文久3年10月 (1863年)
28	市川團十郎演芸百番 斧定九郎	豊原国周	明治31年8月 (1898年)
29	市川團十郎演芸百番 寺岡平右衛門	豊原国周	明治31年11月 (1898年)
30	仮名手本忠臣蔵 七段目	豊原国周	慶応2年7月 (1866年)
31	市川團十郎演芸百番 大星由良之助	豊原国周	明治31年7月 (1898年)
32	市川團十郎演芸百番 大星由良之助	豊原国周	明治31年5月 (1898年)
33	仮名手本忠臣蔵 大序	歌川芳虎	明治19年11月 (1886年)
34	仮名手本忠臣蔵 二段目	歌川芳虎	明治19年 (1886年)
35	仮名手本忠臣蔵 三段目	歌川芳虎	明治19年11月 (1886年)
36	仮名手本忠臣蔵 四段目	歌川芳虎	明治19年 (1886年)
37	仮名手本忠臣蔵 五段目	歌川芳虎	明治19年 (1886年)
38	仮名手本忠臣蔵 六段目	歌川芳虎	明治19年12月 (1886年)